

大盛山のニッコークスゲ

1. 日程：2026 年 7 月 4 日（土曜日）

2. 参加者： 原田晴(記)、

3. コース： 野辺山電波観測所から大盛山往復 （標準タイム上り 1:40 下り 1:20）

野辺山電波観測所 10:55⇒(0:45)11:40 平沢駐車場⇒(0:55)12:30 大盛山山頂 13:00⇒
(0:45)13:40 平沢駐車場 13:45⇒(0:40)14:25 野辺山電波観測所駐車場

4. 山行報告

翌日 7 月 5 日の畔が丸山行が天候不順で中止になったのを受け、急遽ニッコークスゲを観に大盛山に出かけた。この時期は他にもウツボグサや撫子、シモツケソウや早くもマツムシソウも咲いていたのには驚いた。普段なら休日でも空いている平沢峠駐車場もニッコークスゲを観る登山客では一杯の状況だった。電波観測所の駐車場から平沢峠の駐車場まではアスファルトの道を過ぎ、鹿よけの柵を過ぎると昼でも薄暗いうっそうとした雑木のなかを歩くため、熊が突然横から出てきたらと思うとぞっとする心配な道だったが、この日は綺麗に刈られていたのでとても歩きやすかった。今にも降り出しそうな天気の中を頂上に近づくにつれて足元も悪く、転ばぬように気を付けながら進んだ。

大盛山についたころは視界不良だったが、ほどなく向いの飯盛山が見えてきた。大盛山のニッコークスゲの群落は手軽に観ることが出来るので、近年登山客が増えているという。



（写真）上左：整備された山道、上中：平沢峠登山口の看板、
上右：シモツケ草、下右：オダマキ、下中：飯盛山とニッコークスゲ、
下右：カワラナデシコ

以上

金峰山

1. 日程：2026 年 7 月 14 日（月曜日）

2. 参加者： 原田晴（記）、

3. コース： 大弛峠から金峰山への最短コースを往復 （標準タイム上り 2:05 下り 1:50）

大弛峠駐車場 10:10⇒(1:10)11:15 朝日岳⇒(0:55)12:10 金峰山山頂 12:30⇒

(0:55)13:20 朝日岳⇒(0:55)14:20 大弛峠駐車場

4. 山行報告

天候不良により鳥海山を断念して横浜に戻ったので、その代わりと言ってはなんだが、リベンジに金峰山に行くことにした。金峰山には少なくとも 2020 年頃から毎年 1 度は登っている。最初は廻り目平から次の年に富士見小屋から、その時に頂上で出会った人から大弛峠からだに登りやすいと聞いたので、それからはずっとこの峠からのルートで歩いている。たしかに往復 4 時間程度で高低差も比較的少なく歩きやすい。

この日はガスで風も強かったので、さっそく半袖から長袖レインウェアに着替えて歩き出す。歩き出してまもなく山行を終えて帰る数組の登山客とすれ違う。先週の月山がたくさんの花に溢れていたのだが、金峰山は実に殺風景の山行だった。それでも山頂手前でキバナ石楠花がまだ咲いていたのには嬉しかった。

山頂付近から風がさらに強くなり吹き飛ばされるのではないかと恐怖とも戦いながら一歩ずつ足を進めた。そこですれ違った女性は胸に一歳未満の男の子を抱えていたが、山頂へ行くことを途中であきらめて戻るところだった。歩けない子を抱いての登山も大変だろうが、もしも転んだらただではすまいだろうと思う。よく連れて歩けるものだ。彼女とは下山の途中で追い越したが、駐車場でお主人と思しき人から、赤ん坊連れの人が歩いていなかったかと聞かれたが、軽装の奥さんと乳児を置いて、夫もよくや

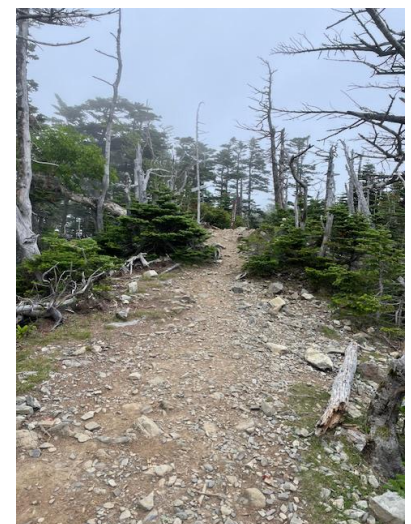
るものだとあらためて驚いた。この日は天候に恵まれず、五丈岩が一瞬だけ観れた。

帰りの道すがら、桃の販売店があったので訳アリ品？を購入して帰る。この時

期や 9 月頃もブドウがあるので山梨の登山は色々楽しめる。

（写真）上右：金峰山山頂、下右：朝日岳近くの登山道、下左：山頂近くで観たキバナ石楠花、

以上



大菩薩嶺

1. 日程：2026 年 7 月 16 日（水曜日）
2. 参加者： 原田晴(記)、
3. コース： 上日川峠から雷岩を経て大菩薩嶺へ、
帰途は大菩薩峠経由で戻る
(標準タイム上り 1:48 下り 1:48)
上日川峠駐車場 13:00⇒(1:48)大菩薩嶺 14:20⇒
(0:38)大菩薩峠 15:00⇒(1:10)15:45 上日川峠

4. 山行報告

恵那山に登る計画をするも、平日は登山客が少ないことと、この時期は蚊が多いとのことなので、大菩薩嶺に行先を変更する。出発が遅かったので、上日川峠には1時頃に到着した。登山口のロッヂ長兵衛では、ここでも桃を販売していた。美味しそうでなによりも安いのが良い。聞けば4時には販売を終了するとのこと、ここでは何も買わずに進む。少し先にある福ちゃん荘では多くの登山家がいた。人気の山だけはある。ここから雷岩までの道はざれており、ところどころ急登で歩きにくかったが、雷岩近くまでくると眼下に大菩薩湖が良く見えた。晴れておれば富士山とのバランスが非常に良いのだが、少し残念だ。

ストックを持参してこなかったのが、帰りはピストンではなく大菩薩峠経由で帰ることにした。昨年の秋に小菅の湯から大菩薩峠にある介山荘まで歩いたことを思い出す。大菩薩峠経由の帰り道はとても整備されていて歩きやすい。途中の福ちゃん荘で、ツーリスト客と出会う。20人以上はいるようだ。そこを通過してロッヂ長兵衛を目指す。4時前には充分間に合ったが、お目当ての桃は売れ切れていた。がっかりしたが、奥から一箱だしてくれたので、持ち帰ることが出来た。

(写真) 上：大菩薩峠、下：大菩薩嶺



高山植物と野鳥観察・池ノ平湿原実地研修報告

日時：7月26日

参加者：加賀屋、大沢、高橋、森田、鹿又、滝口、松田

行程：池ノ平駐車場 9:45→雷の丘 10:55→雲上の丘広場 11:20→見晴岳 11:30→三方ヶ峰 11:55
→グリーン広場 12:15→池ノ平駐車場 12:45

池ノ平駐車場に着き、まずは東麓ノ登山を目指す。200m進んだ所で雨が降ってきた。そればかりか雷も。雷の中、山頂を目指すのは危険と判断して、あと 800m だったが登頂を断念。

駐車場にもどって池ノ平湿原の周回に切り替える。雨は小降りになったり、やんだりを繰り返した。さてお目当ての花であるが、次から次へと咲いていた。

カワラナデシコ、マルバタケブキ、シャジクソウ、ハクサンフウロ、ワレモコウ、タカネニガナ、ヤマオダマキ、コバノイチャクソウ、コケモモ、バイケイソウ（全体に強い毒がある）、イワオトギリソウ、シモツケソウ、ウスユキソウ、カラマツソウ、アヤメ（終わっていて一輪のみ）、ノアザミ、イブキジャコウソウ（芳香あり）、コマクサ（高山植物の女王）、ウツボクサ、グンバイズル、ハクサンオミナエシ、ワタスゲ（雨でしぼんでいた）。

鳥はメボソムシクイが鳴いていた。メボソムシクイは針葉樹林を好んで生活する。「ジョリジョリジョリジョリ」と4音で鳴くことが多い。針葉樹林の森に行ったら耳を澄ましてほしい。

ジャンボタクシーに早めに来てもらい、上田の駅でみんなで蕎麦を食べて研修会を終えた。信州の蕎麦は格別の味だった。



グンバイズル



コマクサ



バイケイソウ



イブキジャコウソウ



マルバダケブキ



シモツケソウ（ピンク）
ウスユキソウ（白）



コバノイチャクソウ



ウツボグサ



ハクサンオミナエシ



雲上の丘から見た池ノ平湿原



雷の丘にて

(記録：高橋 写真：大沢、森田、高橋)